

## 平成 28 年度第 1 回（第 20 期第 3 回）文化財保護審議会 会議録

1. 日 時 平成 28 年 4 月 22 日（金）午後 6 時 00 分～午後 7 時 50 分

2. 出席者

豊泉会長、白川副会長、和田委員、峰岸委員、稲葉委員、坂本委員、  
小坂委員、太田委員

3. あいさつ及び人事異動

会長あいさつ

センター長あいさつ及び市職員人事異動の紹介

4. 報告

（1）事業報告について（平成 27 年度）

・事務局より、平成 28 年 1 月から平成 28 年 3 月までの歴史民俗資料館及び古民家園の実施事業報告を、資料にそって説明。

（2）埋蔵文化財の調査について

・事務局より、平成 28 年 1 月から平成 28 年 4 月までの埋蔵文化財調査の事業報告について、資料にそって説明。「立川市埋蔵文化財調査報告集Ⅴ」の刊行を報告。

（3）平成 28 年度文化財保護に要する予算の概要について

・事務局より、資料にそって説明。

委員：古民家園、小林家住宅の現況を確認した。茅葺き屋根の傷みが激しい箇所（南側と西側）については葺き替えを計画していくこと、特に南東隅棟は腐蝕がかなり進行しているようなので至急保存のための修理を要請したい。

（4）平成 28 年度歴史民俗資料館・古民家園事業計画について

- ・事務局より、今年度の事業計画について資料にそって説明。

委員：「須崎家内蔵」工事のため中断していた古民家園体験学習について、「さつま芋収穫体験」事業を10月に予定しているが、さつま芋は苗を植え付けることもわからない人が増えているので、植え付けから一連の体験学習事業が行えるよう検討してほしい。

(5) 平成28年度歴史民俗資料館・古民家園事業予定について

- ・事務局より平成28年4月から7月までの事業予定について、資料にそって説明。なお、平成27年度から開始された市史編さんに係る調査・研究活動にあたっては文化財係とも連携して取り組んでいる。今後の文化財調査についても市史編さんと協働、協力体制で実施し、研究等の成果は共有していく。また市史編さん事業の終了時に、調査収集を行った資料の保存方法や保管のあり方について、今後も両者で協議調整をしていく予定。

「須崎家内蔵」の公開にあわせて、土蔵に所蔵された古文書について、共同調査に携わる砂川村役場文書研究会の講演会等を通じて、調査研究の継続と重要性を多くの方々に理解をいただく機会となった。今年度以降は市史編さん担当で文書の目録作成や調査等を進めていく。

(6) 市指定有形文化財「立川氏文書」の指定について

- ・事務局より平成28年3月25日に市指定有形文化財に指定された「立川氏文書」（個人所有分）の文化財保護審議会答申後から指定までの経過を資料にそって報告。

(7) 市指定有形民俗文化財「須崎家内蔵」の復元工事の完了及び市指定史跡「満願寺跡」の整備工事の完了について

- ・市指定文化財の工事・整備等が、平成 28 年 3 月までに終了し、「満願寺跡」は 4 月 1 日より公開を始め、「須崎家内蔵」は 4 月 21 日の落成式典以後から公開を開始した。なお落成初日の来園者は 128 名を数え、来園者には記念品を贈呈した。

委員：「須崎家内蔵」を見学したが、外扉内側の 2 枚の引き戸の順番が入れ違っているように思われるので、設計施工の担当者に確認をしてほしい。また、置屋根は、強風対策として枕とアンカーボルトで緊結しているのかを確認してほしい。

- ・「満願寺跡」では平成 28 年 1 月に井戸さらいを含む出土品文化財調査を行った。詳細は資料館だより 20 号によるが資料は昭和以降のものが主体であった。

## 5. 情報交換

- ・次回以降開催の文化財保護審議会で市指定文化財の指定に関する議題を進めるため、文化財に関する資料及び情報提供を行う。

## 6. その他

- ・次回開催 平成 28 年 7 月 22 日（金）午後 6 時